

「プラド美術館展」開会式

堀井学政務官挨拶

高円宮妃久子殿下，

ガルシア・カサス・スペイン外務協力省長官，

ご列席の皆様，

外務大臣政務官の堀井学でございます。本日は、「プラド美術館展－ベラスケスと絵画の栄光」の開催，誠にありがとうございます。

今回のプラド美術館展は，巨匠ベラスケスの傑作が多数出展される歴史的な展覧会と伺っております。馬淵（まぶち）国立西洋美術館館長，ファロミール・プラド美術館館長始め，今回の展覧会実現に御尽力された関係者の皆様に心から敬意を表します。

スペイン絵画の黄金時代を代表するベラスケスの生きた17世紀は，日スペイン交流が始まった時期に重なります。両国は2013年から2014年，交流400周年を祝いました。今日，日本とスペインは，自由，民主主義，法の支配と言った基本的価値を共有する重要なパートナーです。また，互いの豊かな歴史や文化を敬愛し，政治，経済，教育，科学技術等の幅広い分野で緊密に協力して

います。

昨年4月にはフェリペ6世国王同妃両陛下を国賓として日本にお迎えし、両国の絆はさらに強まりました。

本年、日本とスペインは、外交関係樹立150周年を迎えます。先月、マドリードにおいて、ダスティス外務・協力大臣と中根外務副大臣が参加し、150周年の開幕式典が盛大に行われました。1年間を通じ、今回のプラド美術館展を始め、両国民が互いの国について更に深く知り、また、友好関係を深められるよう、様々な行事が催されます。これらの行事が両国国民が互いの国や文化を一層身近に感じる機会となれば喜ばしいと思います。

150周年という記念すべき年が、両国関係の更なる飛躍の一年となり、両国の絆がより強固なものになることを祈念すると共に、「プラド美術館展」の盛会を祈念致しまして、私の御挨拶とさせていただきます。

ムチャス・グラシアス(大変ありがとうございました)